

# 北海道の 学校図書館

発行 北海道学校図書館協会  
 会長 門前 智  
 事務局長 齋藤 昇一  
<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>  
 印刷所 (株) 有伸商会  
 TEL (011)814-6211

## 第39回 全国学校図書館研究大会 甲府大会

「学びを深め 知を活かす 学校図書館

～豊かな育ちを支えるために～」



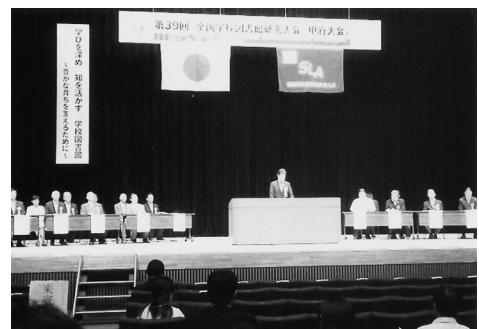
北海道学校図書館協会 副会長 久保田 法 順  
 (北海道札幌清田高等学校 校長)

平成26年8月6日(水)～8日(金)まで、山梨県甲府市のコラニー文化ホール、山梨学院大学、山梨県立図書館を会場に、全国から約2,500名もの参加者により、熱心な研究交流が行なわれました。最初に感じたことは、実に多くの内容も多様な分科会が設定されていたことです。その形式も講演、講義、報告、研究討議、実践発表、シンポジウム、フォーラム、ワークショップ、視察見学等があり、私が参加できるものは限られていましたが、貴重な、有意義な研修の機会となりました。

8月6日(水)は、N-①講義、教科指導と新聞(全)、L-②研究討議、レファレンス協同データベースの活用(中高)、8月7日(木)は、L-③研究討議、学校図書館を活用する総合的な学習(高)、F-④報告、IASLインドネシア大会・海外の学校図書館事情(全)、M-⑤実践発表、司書教諭の活動(高)、E-⑥講義、国立国会図書館MARCについて(全)、8月8日(金)は、F-⑦講義、学校図書館を活用する調べ学習(全)、M-⑧研究報告、スタッフマニュアルの作成と活用(全)。主に、校種別では、高校での学校図書館利用に関連するものや、総合的な学習の時間の取り組み、最新のデータ活用の状況などを中心に参加をいたしました。

改めて、学校図書館に係る課題が沢山存在し、奥の深い世界であることを実感いたしました。新学習指導要領では、「言語活動の充実」が大きな柱になっていますが、この課題解決に学校図書館を活用して、どう教育活動に活かしていくことができるのか、大きな関心を持っていました。私が勤務している高校でも、「なおもっとプラン」と名付けられている総合的な学習の時間の在り方とも関連し、学校全体の大きな課題であると認識しているところです。今年は、学校司書の法制化が実現し、努力規定ではあっても、学校図書館関係者には長年の運動が実り、明るいニュースがありました。しかし、様々な報告や発表を聞くにつけ、日本各地の学校図書館で、日々、素晴らしい実践をされている方に支えられて、今日の学校図書館が運営されているのだと実感いたしました。国も地方自治体も、きちんと予算付けをし、子どもたちの読書環境整備を図ってほしいものだと、切に願っています。

最後に、私が参加した分科会では、「レファレンス協同データベース事業」の取り組みを、横浜の高校の方が報告していました。これは、国立国会図書館が運営する事業で、公共、専門、大学などの学校図書館が、レファレンス事例をデータベースに登録し、ネット上で共有、公開することができるものです。2013年7月より、学校図書館関係団体も参加できるようになり、徐々に活用が進んでいます。今後、様々な点で、学校図書館の利便性がより高まるものと期待しています。



第39回 全国学校図書館研究大会 甲府大会

全国大会の特色と学校司書配置に向けて

北海道学校図書館協会 研究部長 佐藤 敬子

(札幌市立宮の丘中学校 司書教諭)

8月6日から8日まで開催された甲府大会。暑い暑いと聞いていましたが、研究会の最中はあまり外に出るわけでもなく、会場では冷房が効いて快適な3日間でした。北海道から、発表・司会等も含めて数多くの参加がありました。

今大会の内容の特色として、

- ① 「言語活動の充実」のため、教育活動全体で学校図書館をどう活かすか。
② 「特別支援教育」における図書館活用の分野の拡充を図るにはどうしたらよいか。
③ 地域や家庭との連携を、人的資源の交流を視野に入れて、どう築いていくか。

という点があげられていました。北海道からの発表や提言は、そのことに関連したものが多く見られました。

また、今大会で特に注目したのは、山梨県が早くから学校司書を配置していたことです。学校司書配置について関心が高まっている今、それに関する分科会が多かったように思います。この機会に山梨県の状況をぜひ知りたいと考え、参加しました。分科会では学校司書からの発表も多く、大変優れた実践が見られました。ただし、司書教諭をはじめとして学校全体で連携して活動が進められている場合は大変効果的でよいのですが、中には学校司書だけの範疇にとどまっている実践も見られ、残念に思いました。この点は、今後の北海道での実践の在り方を考えるうえで大変参考になりました。やはり、学校図書館はそれに関わるいろいろな人が協働して動いていくものだ、改めて感じました。

また、学校司書といっても、いろいろな条件・立場で働く人がいるのだということもわかりました。先進的な人的環境を誇る山梨県といえども、まだまだその条件整備は十分ではないのです。この点も北海道での今後の方向を考えるうえで参考となりました。

これから学校司書の配置に向けていろいろな動きがみられるようになると思われませんが、今大会での成果をもとに、これからの学校図書館に関わる教育や活動がより良いものになっていくよう、本協会の研究を進めていきたいと考えています。

\*\*\*\*\*



甲府の熱気に包まれて～全国大会での発表を終えて～

札幌市立発寒中学校 司書教諭 本間 由美

今回初めて全国大会に参加しました。会場のある甲府市はドラマ「花子とアン」の舞台として脚光を浴びており、また、大会の日程がインターハイと重なっていたこともあり、街の熱気を感じる中で今回の大会参加となりました。

大会では「よりよい情報活用のための『学び方の指導』」という題で以下の発表を行いました。

- (1) 全教科・全領域を超えた「学び方の指導」と学校図書館の関わり
(2) 発寒中学校の「学び方の指導」について～司書教諭としての関わり～(年度当初の取り組み、「情報活用及び情報教育委員会」と「図書館及びその資料の利用と指導に関わる計画」の作成について、「情報教育・学び方のアンケート」について、など)
(3) 研究内容の実践
① 図書館の利用指導(図書館オリエンテーション、図書館学活、寄託図書の利用、情報カードの活用、など)
② 「学び方の指導」～国語科での実践例(国語科1学年の実践、参考図書の使い方、情報カードの書き方と活用、など)



- (4) 成果と今後の課題
(2)と(3)については、過去一年間の実践で用いた資料をもとに話をさせていただきました。

特に伝えたかったことは「年度当初に学校図書館が校内の学習センター・情報センターであるということを経験を見つけてアピールし、理解を求めることが大切であると実感したこと」、「学び方の基礎を教える場として、国語科の取り組みが重要であること」、「情報を収集し、活用していくための〈情報カード〉などの共通ツールがあると教科・領域を超えた情報の共有ができて便利であること」、「寄託図書を活用することによって、学習に広がりや生まれること」です。日々限られた時間の中で司書教諭として力になれることは何か、試行錯誤しながら行ってきたことを率直に述べさせていただきました。発表後の質疑応答では「図書館司書がいたらお願いしたいことは何か」「図書館学活の行い方」について質問を受け、回答しました。発表の後も様々な県の先生方から質問を受けたり、こちらから質問をしたりと有意義な時間を過ごすことができました。なにより、全国各地で多くの先生方が試行錯誤を繰り返し、学校図書館の運営に力を注いでいるということを知り、刺激を受けるとともに、今後に向けての元気がわいてくるように思いました。

最後になりましたが、今回このような機会を与えていただいた道SLAの皆様、をはじめ、関係の皆様にお礼を申し上げます。

## 第37回 北海道子どもの本のつどい「岩見沢大会」を終えて

北海道子どもの本連絡会 事務局 岡田 恵子

今夏7月20日、21日の2日間、岩見沢で開かれた北海道子どもの本のつどいも無事終わる事ができました。

1日目の講師は、児童文学者あまんきみこさん。「今だからこどもたちにつたえたいこと」と題して旭川の「こども富貴堂」店長福田洋子さんとの対談形式での講演でした。心配していたのは1931年生まれのアマンさんのご体調でしたが、登壇された時は、背筋もびんとして、足取りも軽く、はっきりと優しい話しぶり、心配は杞憂に終わりました。『おかあさんの目』『うさぎがそらをなめました』『鳥よめ』（出版予定絵本）の作者による読み聞かせもあり、「原作者ご本人に読んでいただくというのは、こんなにも心に染み入るのかと大変感動しました。」という感想がありました。



北海道子どもの本連絡会ではつどいの他に毎年「冬季合宿研」を開催しています。1泊2日で、子どもの本の研究をし、じっくり話し合おうという趣旨です。今年の冬季合宿研はこのつどいを視野に入れ「あまんさんの本をよもう」という事前学習会になりました。事前学習を経ての講演会は実り豊かなものになったと思います。

2日目は①新しい読書活動②おはなしあそび③語り④学校図書館⑤公共図書館⑥創作⑦児童文学⑧しょうがい者と読書活動⑨ブックスタート⑩読み聞かせの10分科会。子ども・おやこ向けワークショップとして①手づくり絵本教室②おはなしの中の料理教室③本から学ぶ図画工作教室。それと前日から2日連続での④一般向け手づくり絵本教室の合計4つのワークショップ。さらに絵本作家長谷川義史さんによる午前と午後の「絵本ライブ」と盛りだくさんの内容となりました。

学校図書館の分科会は“百科事典を活用して「ふるさと空知」を、調べてみよう”というもので、参加者から「自分で調べてみたら、調べるのは難しいというのが良く分かった。適切な本がないと調べたいものにたどり着けない。だから図書館は建物と本があればいいのではなく本を手渡してくれる人が重要だ、ということを確認する機会になりました。」との感想がありました。

### 全道研究部長会から

北海道学校図書館協会第46回全道研究部長会が9月20日(土)、21日(日)の両日、かでる2・7で行われた。

1日目の前半には、平成27年度に開催が予定されている北海道学校図書館研究大会室蘭大会についての概要が審議された。大会日程やこれまでに内定している公開授業会場校および授業者などが提案された。また学校司書法制化に関連したセッションや室蘭らしさの見えるセッションの設定などについても意見が出され、次の研究部長会までの運営事務局からの詳細な提案を待つこととなった。室蘭にゆかりのある方の記念講演への招聘も今後決定が急がれることとなった。



後半には、室蘭大会におけるテーマ・研究内容の審議が行われた。室蘭支部の研究部長・長野加奈恵先生及び道S L A理事の松井操人先生より室蘭大会の研究テーマの原案が発表され、研究テーマの意図する内容について活発な意見交換がなされた。また分科会に関わって、公開授業後の授業反省の時間の確保や研究発表・提言をふまえた討議の持ち方・時間配分などが検討された。

続いて室蘭大会の構想検討終了後には、道内2支部からの活動状況の報告があった。

札幌支部からは、7月末に行われた道立図書館北方資料室の鈴木浩一氏を迎えての図書館クリニックの様子や12月に予定されている研究大会の進捗状況などが報告された。小樽支部からは、昨年の小樽大会後の支部の様子や研修会・講演会の様子、市立図書館との連携などの取り組みが報告された。

2日目には、前日に引き続き道内各支部からの活動状況の報告が行われた。函館支部からは、図書予算減少による新刊図書購入縮小の現状や公共図書館との連携について報告された。旭川支部からは、拠点校方式での図書館補助員全校配置の現状や旭川S L A創立60周年を記念した講演会開催などが報告された。岩見沢支部・空知地区支部からは、「北海道子どもの本の集い」に向けた取り組みや近隣支部との連携への模索などが報告された。苫小牧支部からは、指定管理者制度を導入した苫小牧市立中央図書館との連携などについて報告された。帯広支部からは、世代交代や図書館担当職員転出による支部メンバーの確保が喫緊の課題であるという報告がなされた。また十勝地区支部からは、支部が広域にわたり少数教部員による活動のため支部活動そのものの盛り上がりの欠如が課題として報告された。各支部の報告のあと質疑応答の時間がもたれたが、各支部の活動を支える部員の減少はこれから対策を講じていかねばならない課題であると確認された。

次年度の室蘭大会に向けた本格的な審議や、道内各支部の最新の活動状況を交流することができた実り多い会議となった。

[文責：北海道学校図書館協会 総務部長 村山 知成]  
(札幌市立元町小学校 教諭)

## 「寮美千子さんと語る会」を開催 ～いのち、生き方を紡ぐ作家の生き方に触れる～



「ばらのおうち文庫」の高橋洋子さんが、寮美千子さんを札幌に講演依頼をした際に、せっかくの機会なので当会でも何かできないかと、語る会を企画して開催しました。寮美千子先生は、2005年『楽園の鳥』で泉鏡花文学賞を受賞され、古都に憧れ首都圏より奈良に移住、絵本、詩、小説、自作朗読と幅広く活躍中の先生です。当日はスライド等も使われ、作家としての問題意識や創作への視座を熱く語られ、楽しいひと時となりました。会場は新築移転した「ふきのとう文庫」の多目的ホールをお借りしましたが、新しくなった「ふきのとう文庫」を知ってもらい見学する機会となりました。6月28日土曜日は休館日なのですが、語る会のために開館していただきました。

寮美千子さんの作品は、北海道指定図書に2冊選ばれています。

2000年『おおかみのこがはしってきて』北の大地の物語（パロル舎1999年刊）

2010年『イオマンテ めぐるいのちの贈り物』北の大地の物語（パロル舎2005年刊）

語る会では、現在居住している奈良での遺跡保存の取り組みや奈良少年刑務所での「社会性涵養プログラム」から生まれた『空が青いから白をえらんだのです 奈良少年刑務所詩集』（長崎出版2010年刊/新潮文庫2011年刊）の話、乾井教官の「思いを汲んで、寄り添い伝え、手塩にかける」の言葉が印象的でした。また『父は空 母は大地 インディアンからの手紙』（パロル舎1995年刊）から始まり、「十勝場所と環境ラボラトリー」との縁で先住民族アイヌの物語の2作品（上記2冊）へ、そして「アイヌ文化振興・研究推進機構」から出された『フキノトウになった女の子』（2014刊）へと。これまで手がけたほとんどの作品についても紹介がありました。作家と作品の向き合い方に興味深く耳を傾けました。現在、パロル舎が倒産し、長崎出版も同様な状態にあり、作品の入手が難しい状況にあります。寮美千子さんのホームページをご覧ください。

〔文責：北海道学校図書館協会 事務局次長 野村邦重〕  
（札幌市立平和通小学校 教諭）

## 北海道学校図書館協会研究大会に向けて ～研究大会まであと1年：室蘭支部の準備・取り組み～



室蘭では、平成27年9月4日～5日に行う第41回北海道学校図書館研究大会室蘭大会に向けて、市内の全小中学校から各校1名以上の大会運営委員を出してもらい、総勢42名で準備を進めています。市内全体への実践の広がりや底上げを図るため、各校の学校図書館を活用した実践交流を行いながら、授業で活用する学校図書館作りを目指して、学校図書館担当者の研修を深めることを中心とした活動をしています。意識しているのは「小中の連携」です。部会員を中学校区ごとに7つの研究グループに分け、グループごとに配置した研究部員を中心に各校の実践を交流し合い、その中から小中で連携できることや共通の取り組みなどを検討しています。そして、全体でそれぞれのグループ発表を定期的に行うことにしています。

4月からすでに4回の全体研修会を行っているので、紹介します。

4月23日 今年度の全体計画と次年度開催予定の北海道学校図書館研究大会室蘭大会の概要を確認しました。

5月12日 苫小牧市立泉野小学校の鈴木祐亮教諭をお迎えし、「言語活動の充実と学校図書館の活用」について研修を行いました。

7月8日 市内の中学校区毎に実践した活動内容の交流を行いました。

7月28日 学校図書館の整備活用についての研修を行いました。

また、今後の予定として、11月5日に市内小中学校の実践交流研修会を予定しています。

研究テーマ「心豊かに21世紀を切り拓く力を培う学校図書館 ～広がる言葉 広がる学び 広がる可能性」に迫るため、研修を中心に準備を進めています。全道各地からのたくさんの関係者のお越しを運営委員一同、心よりお待ちしております。どうぞよろしくお願いたします。

〔文責：北海道学校図書館協会 室蘭支部事務局長 吉成 透〕  
（室蘭市立八丁平小学校 教頭）

## 第26回読書感想画コンクール・第2回全道コンクール募集要項

- 1 主催 公益社団法人全国学校図書館協議会 毎日新聞社 北海道学校図書館協会
- 2 後援 北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会・北海道読書推進運動協議会・北海道国語教育連盟・北海道造形教育連盟
- 3 対象図書 (1) 自由読書(推薦「北海道青少年のための200冊」)(2) 指定読書(主催者が指定した図書)  
上記の中から本を選び、その読後感を感想画で表現する。
- 4 応募締切 平成26年12月25日(木)
- 5 応募資格 北海道内の小学校・中学校・高等学校に在学する児童生徒  
満20歳以下に限る。(1994年4月2日以降出生)
- 6 作品規定 ※感想画用紙は、画用紙・ケント紙・キャンバスボード・マニラ紙・ボール紙いずれでも可。  
(ワク貼りキャンバスや木製パネルなど厚みのある作品は不可)  
作品の寸法は、36cm×25cm以上で、55cm×40cm以下(8つ切～4つ切)とする。  
※絵具は、クレヨン・パステル・水彩・油絵具など自由。版画・はり絵も可。  
(ただし、立体など厚みのあるものを貼付した作品及び破損しやすい作品は審査の対象としない。)  
※作品の裏面に、応募票・作画感想(200字以内)を貼付すること。  
作画感想は原則として自筆とする。  
※募集要項に合わないもの、読んだ本にある絵をまねたもの、ポスター、映画・ビデオ・DVD等の  
場面をまねたものは審査の対象としない。
- 7 応募に当たって  
※一人で自由読書・指定読書それぞれ各1点応募できる。  
※応募作品の著作権・出版権は主催者に帰属し、原則として作品の返却はしない。  
※作品は必ず在籍校に提出し、学校単位で応募すること。
- 8 応募先 ㊦060-8643 札幌市中央区北4条西6丁目1 毎日新聞社北海道支社  
『第26回読書感想画コンクール・第2回全道コンクール』係  
電話011-281-5252 FAX011-251-3551
- 9 審査 主催者が委嘱した審査委員により行う。
- 10 審査区分 ①小学校低学年(1・2・3年)の部 ②小学校高学年(4・5・6年)の部  
③中学校の部 ④高等学校の部
- 11 賞 1) 個人賞  
①最優秀賞 ②優秀賞 ③優良賞 ④奨励賞  
2) 学校賞～上記の①②③を受賞した児童生徒の在籍校の中で優秀と認められる学校  
※各部上位各4点(自由2点・指定2点)、合計16点を北海道代表作品として中央コンクールに提出する。

	◎指定図書(書名)	著者名	出版社	価格(税別)
小学校 低学年	にじ・じいさん: にじはどうやってかけるの?	くすのきしげのり(作) おぐらひろかず(絵)	B L 出版	1,200円
	おばけのクリリン	こさかまさみ(作) さとうあや(絵)	福音館書店	1,400円
	うちにいれちゃだめ!	ケヴィン・ルイス(作) デヴィッド・エルコリーニ(絵) 長友恵子(訳)	フレーベル館	1,300円
	もしも宇宙でくらしたら	山本省三(作) 村川恭介(監修)	WAVE出版	1,300円
小学校 高学年	ゆいはぼくのおねえちゃん	朝比奈蓉子(作) 江頭路子(絵)	ポプラ社	1,000円
	木かげの秘密	浅野 竜(作) 杉田比呂美(絵)	学研教育出版	1,300円
	三千と一羽がうたう卵の歌	ジョイ・カウリー(著) デヴィッド・エリオット(絵) 杉田七重(訳)	さ・え・ら書房	1,400円
中学校 ・ 高校	淀川ものがたりお船がきた日	小林 豊(文・絵)	岩波書店	1,600円
	願いながら、祈りながら	乾 ルカ(著)	徳間書店	1,600円
	カンヴァスの向こう側: 少女が見た素顔の画家たち	フィン・セッテホルム(著) 梶谷玲子(訳)	評論社	1,600円
	ルーシー変奏曲	サラ・ザール(著) 西本かおる(訳)	小学館	1,500円
高校	ガラパゴスに木を植える: 世界自然遺産第一号を守れ!	藤原幸一(写真・文)	岩崎書店	1,500円
	田んぼの不思議	安室 知(著)	小峰書店	1,400円

# 第40回 北海道指定図書

平成26年度  
青少年読書感想文全道コンクール

## 北海道の先生がおすすめる本

主催/北海道学校図書館協会・毎日新聞社北海道支社  
後援/北海道・北海道教育委員会・公益財団法人北海道青少年育成協会  
選定協力/北海道読書推進運動協議会

**小学校低学年の部**

**ちいさなはくさい**  
くどうなおこ/さく  
ほてはまたかし/え  
小峰書店  
定価1,400円+税

**ぼくだよ ぼくだよ**  
きくちちき/作  
理論社  
定価1,500円+税

**キリンがくる日**  
志茂田景樹/文  
木島誠悟/絵  
ポプラ社  
定価1,300円+税





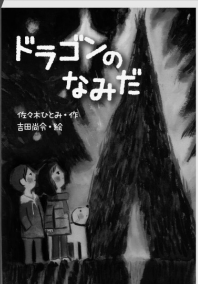


**小学校中学年の部**

**ぼくはニコデム**  
アニエス・ラロッシュ/文  
ステファニー・オグソー/絵  
野坂悦子/訳  
光村教育図書  
定価1,300円+税

**あいしてくれて、ありがとう**  
越水利江子/作  
よしざわけいこ/絵  
岩崎書店  
定価1,200円+税

**ドラゴンのなみだ**  
佐々木ひとみ/作  
吉田尚令/絵  
学研教育出版  
定価1,300円+税






**小学校高学年の部**

**北限の稲作にいでむ**  
『百万石を夢見た男、中山久蔵物語』  
川嶋康男/著  
農山漁村文化協会  
定価1,300円+税

**クロテン**  
北国からの動物記 6  
竹田津実/文・写真  
アリス館  
定価1,400円+税

**ガチャガチャ☆GOTCHA!**  
カプセルの中の神さま  
宮下恵菜/作  
宮尾和孝/絵  
朝日学生新聞社  
定価1,000円+税


**中学生の部**

**毎日新聞社 記事づくりの現場**  
深光富士男/文  
佼成出版社  
定価1,500円+税

**レディが群れに帰るまで**  
母を亡くした子(バンジャー)と飼育員の物語  
野谷悦子/著  
寿郎社  
定価1,400円+税




## 北海道の本を読みましょう!

第60回 青少年読書感想文全道コンクール  
第40回 北海道指定図書読書感想文コンクール

感想文は夏休み明けに、学校に出してください。  
詳しくは、「応募のきまり」をご覧ください。

## 第47回北海道学校図書館研修講座へのご案内

**主催** ●北海道学校図書館協会  
**後援** ●北海道教育委員会 札幌市教育委員会  
**趣旨** ●学校図書館の運営及び情報・メディアを活用する学び方の指導、並びに読書指導に関する基本的事項について理解を深めるとともに、学校図書館の目指す方向と役割についての見識を深め、学校図書館の機能の向上を図ることを目的とする。

**日時** ●平成27年1月6日(火)～8日(木)  
**会場** ●北海道立道民活動センター (かでの2・7)  
 ●札幌市立白石中学校  
 ●札幌市中央図書館

**参加資格** ●学校図書館及び読書指導・学び方の指導に関わっている方ならどなたでも参加できます。

**定員** ●150名

**参加費** ●4,000円(資料代を含む)

**参加申込** ●参加ご希望の方は、研修講座参加申込書に必要事項を記入して、12月1日(月)～19日(金)の期間に直接FAXにてお申し込みください。

申込書は、当協会のホームページ「研修講座」からダウンロードしてください。

申込先 FAX(011) 897-0044

札幌市立もみじの丘小学校 山田 佳子

### A. 共通講座

**講演** 「本の力 学校図書館の力 ～自己をみつめ、歴史をつづる～」  
 元藤女子大学 教授 渡邊 重夫

### B. 選択講座：ファーストコース

1. 講義 「管理・運営」  
 全国学校図書館協議会 スーパーバイザー 野村 邦重
2. 講義 「図書館活動」  
 札幌市立札幌緑小学校 司書教諭 北山 里美
3. 講義 「読書指導」  
 札幌市立もみじの丘小学校 司書教諭 山田 佳子
4. 講義 「情報・メディアを活用する学び方の指導」  
 札幌市立宮の丘中学校 司書教諭 佐藤 敬子

### C. 選択講座：ステップアップコース

1. 講義・実習 「これでバッチリ！資料収集」  
 聖心女子中等学校 司書 新田 裕子
2. 講義・実習 「ステップアップ・読書アニメーション」  
 札幌市立藻岩北小学校 司書教諭 佐藤 広也
3. 講義・実習 「朗読を楽しもう」  
 元HBCアナウンサー・朝日カルチャー講師 安藤 千鶴子
4. 講義・実習 「わくわく読み聞かせ」  
 札幌市立平岡南小学校 教諭 安藤 理恵子
5. 講義・実習 「一日まるごとクリニック」  
 旭川市立愛宕中学校 司書教諭 加藤 直子
6. 講義・実習 「図書館を発信する！～人が集まる資料展示」  
 北海道立図書館北方資料室 主任 鈴木 浩一
7. 講義・実習 「レファレンスの基本」  
 札幌市中央図書館利用サービス課調査相談係レファレンス担当  
 皿井 望美 小林可奈子 山本 和希
8. 講義・交流 「図書館がつながる 人がつながる」  
 石狩翔陽高等学校 司書 谷口 初江  
 北海道立図書館利用サービス課長 宮本 浩  
 神奈川県立横浜南陵高等学校 司書 田子 環

### D. 校種別選択講座

1. 討議 「図書館資料の活用とその指導～小学校」  
 室蘭市立旭ヶ丘小学校 教諭 佐々木 彩乃
2. 討議 「図書館資料の活用とその指導～中学校・高等学校」  
 北海道室蘭栄高等学校 司書教諭 加藤 孝志
3. 討議 「図書館資料の活用とその指導～特別支援」  
 旭川市立豊岡小学校 教諭 脇坂 文貴

### E. ナイター

1. 大人のビブリオバトル 札幌市立鴻城小学校 廣澤 由美
2. 教えて！いいマンガ むかわ町立徳別中学校 菅原 清美
3. 作ろうかんたん装飾 札幌市立宮の丘中学校 浅村麻姫子

### F. 指導者研修講座（第47回全道研究部長会）

1. 第41回北海道学校図書館研究大会(室蘭大会)について
2. 支部研究交流

各支部研究部長

北海道学校図書館協会研究部長 佐藤 敬子 (札幌市立宮の丘中学校 司書教諭)

北海道学校図書館協会事務局長 齋藤 昇一 (札幌市立藻岩中学校 校長)

### ～研修日程～

1月6日(火) 〈かでの2・7〉 ※受付は4階大会議室で行います。直接お越しください。

9:30 10:00 10:25 12:00 13:15 14:45 16:30 18:00 20:00

受付	開講式	A. 講演	昼食	B1. 管理・運営	B2. 図書館活動	E1. ビブリオ	
				C1. 資料収集			E2. マンガ
				C2. アニメーション			E3. 装飾
				F1. 研究部長会			

### 1月7日(水) 〈かでの2・7、白石中学校、中央図書館〉

9:30 12:00 13:15 14:45 16:30 18:00

C3. 朗読	昼食	B3. 読書指導	B4. 学び方の指導	懇親会
C4. 読み聞かせ		C7. レファレンス(中央図書館)		
C5. クリニック(白石中)		C5. クリニック(白石中)		
C6. 資料展示		C8. 交流・つながる		
F2. 研究部長会				

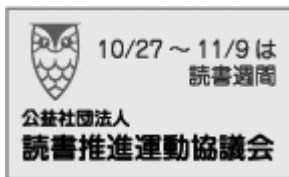
### 1月8日(木) 〈かでの2・7〉

9:30 11:30 11:50

D1. 討議〈小〉	閉講式
D2. 討議〈中・高〉	閉講式
D3. 討議〈特別支援〉	閉講式

懇親会は、本の話や図書館の悩みなどを気軽に話し合える場にしたいと思います。たくさんの参加をお待ちしています。

## 学校図書館情報



◆「めぐる めぐる 本の世界」  
2014年 第68回 読書週間  
10月27日(月)～11月9日(日)  
標語入賞者のお一人である学

校図書館司書の菅谷麻美子さんの言葉。「まず、本を手にとってめくってみてほしい。子どもたちにむけたそんな思いから、この標語ができました。簡単に受け取ることができる、溢れる情報の中にある今の子どもたちが、たくさんの本と出会う機会を作っていきたいです。」

ポスターとして採用されたイラストレーターである富山県「ゆえまつこ」さんの言葉。「秋の夜長…時間を忘れて夢中で読んでしまうような、そしてたくさんの人の心にいつまでも残るような本との出会いがあったらいいなと思います。」

◆学校司書の法制化なる！ (平成26年6月27日公布)  
(平成27年4月 1日施行)

改正学校図書館法に第六条が新設され、「学校司書」にかかわる内容が明記されました。法文の内容は、①学校司書の位置づけの明記、②資質向上のための研修、③資格や養成の在り方について必要な方策をとること、となっています。まずは第一歩です。残された課題についても実践的に解決を目指していきたいものです。

◆学校図書館活性化推進事業

道教委主催による学校図書館を活性化するための研修が、今年度から道内各教育局毎に開催されています。講師として当協会の野村邦重先生が7月に胆振教育局・室蘭市で、8月に宗谷教育局・浜頓別町で、また大久保雅人先生が7月にオホーツク教育局・網走市で、9月に後志教育局・倶知安町で学校図書館研修を行いました。お二人とも教育大学での司書教諭のための講義も担われているため、豊富な経験にもとづいて学校現場に生きる実践的研修となっています。また、道立図書館職員による学校図書館クリニックが大変役立つ実用的な研修となっています。

### 事務局

事務局長 齋藤 昇一 (札幌市立藻岩中学校校長)  
TEL 011-571-6039  
FAX 011-572-3333  
事務局校 札幌市立平和通小学校  
事務局次長 野村 邦重  
〒003-0027 札幌市白石区本通15丁目北3-1  
TEL 011-863-0235 FAX 011-863-0265

## Amenity B-Coat

本の破損や汚れを防ぎながら、抗菌効果を発揮するブックカバー「アメニティBコート」ポリプロピレンフィルムのため、燃焼時にも塩素ガスなど有害物質が発生せず、安心です。ご指定の上ご愛用下さい。

### キハラ株式会社

〒062-0035 札幌市豊平区西岡5条3丁目8-15  
TEL (011) 857-3331  
FAX (011) 857-5211

◆第60回青少年読書感想文全道コンクール

第40回北海道指定図書読書感想文コンクール  
多数の応募、ありがとうございました。

全道審査は10月20日～11月1日に行われました。

表彰式 12月7日(日) 10:00～12:00 (予定)

札幌センチュリーロイヤルホテル(北5西5)

○感想文集『北海道の読書』の普及を進めましょう。

◆作家「今西乃子講演会」開催

10月23日(木)、作家の今西乃子さんの講演会が札幌市WEST19において、札幌市学校図書館地域開放協議会の主催で行われました。著作『捨て犬・未来 命のメッセージ』は昨年の北海道指定図書です。多くの学校図書館関係者が集い、感動的なお話に聞き入っていました。

◆全国高等学校ビブリオバトル2014北海道大会開催

8月10日(日)、活字文化推進会議主催による第1回大会が北海道大学ホールで開催されました。チャンプ本には、札幌創成高校2年長澤凌君の『ニンジャスレイヤー』が選ばれました。全国大会は、1月に東京で開催されます。

## 編集後記

10月に入ってから寒い日が続いていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。本号は8月開催の全国学校図書館研究大会甲府大会を始め、各地で開催された様々な大会・行事についてお知らせしています。読書週間に入り、子どもと本を、より一層近づける実践を積み上げていきたいものです。

(編集: 杉本 操 村山 知成 野村 邦重)  
大久保雅人 齋藤 昇一

ホームページアドレス

<http://sla.gr.jp/~hokkaido-sla/>